

登録No.
登録名
催吐性リスク
適応疾患
投与スケジュール

G-004
Atezolizumab/Bevacizumab療法
軽度
肝細胞癌

	薬剤	投与量	最大投与量	投与日	投与経路	投与時間	備考
Rp.1	アテゾリズマブ 生食	1200mg/body 250mL/body		d1	d.i.v.	初回60min 忍容性良好なら2回目以降30minでも可	0.2又は0.22μmのインラインフィルター使用
Rp.2	生食	50mL/body		d1	d.i.v.	全開	アテゾリズマブ フラッシュ用
Rp.3	ベバシズマブ 生食	15mg/kg 100mL/body		d1	d.i.v.	初回90min 忍容性良好なら2回目60min 忍容性良好なら3回目以降30minでも可	ブドウ糖液禁 ワンショット静注禁
Rp.4	生食	50mL/body		d1	d.i.v.	全開	ベバシズマブ フラッシュ用

1クールの期間
その他（副作用・PS規定等）

3週間

臨床試験での患者選択基準： PS：0～1、Child-Pugh分類：クラスA
Neutr：1500/mm³以上、Lympho：500/mm³以上、Plt：7.5万/mm³以上、Hb：9.0g/dL以上、AST・ALT・ALP：ULN×5以下
T-Bil：ULN×3以下、Scr：ULN×1.5以下またはCcr：50mL/min以上、Alb：2.8g/dL以上、INR・aPPT：ULN×2以下
蛋白尿：<2+（2+以上の場合は24時間の蛋白尿が1g未満）

副作用： 間質性肺炎、肝機能障害・肝炎、大腸炎・重度の下痢、膵炎、1型糖尿病、甲状腺機能低下症、副腎機能障害、下垂体機能障害
脳炎・髄膜炎、神経障害、重症筋無力症、重度の皮膚障害、腎機能障害、筋炎、横紋筋融解症、心筋炎、血球貪食症候群